

基本目標 1 一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち

個別目標 1－1 心身の健康を維持・増進する

現状と課題

- ・年齢や性別に関わらず、健康でありたいと思う人々が増えています。
- ・高齢化が進行する中であって、単に長く生きるのではなく、健康で自立した生活をする
ことのできる期間を伸ばすことへと人々の健康志向が変化してきていると言われていま
す。
- ・これまで本市では、健康づくりの重要性を理解してもらうための意識啓発を行ってきま
した。
- ・各種健康診査の受診しやすい環境づくりに努め、中でも、がん検診については、検査内
容や受診機会を充実するなど特に重点的に取り組んできました。
- ・がん検診の受診率については、当初、大幅に向上したものの、現在では横ばい状態とな
っています。
- ・自殺対策に関しては、これまで様々な取り組みを進めてきましたが、依然として十分な
成果が出ているとは言えません。

取り組み方針

- ・市民一人ひとりが健康を意識し、健康づくりに取り組むための支援を行います。
- ・地域が抱える健康づくりにおける課題を的確に把握しながら、健康づくり活動を効果的
に展開します。
- ・がん検診や各種健康診査などの成果を検証しつつ、若い世代を中心に受診率の増加を図
ります。
- ・自殺に関する現状を把握、分析し、自殺の未然防止につながる意識啓発や自殺に傾いて
いる人等への支援などに継続的に取り組みます。

がん検診における受
診率の現状を踏まえ
つつ、施策の二次評
価での指摘に照らし
ながら若い世代を対
象とした受診勧奨に
ついて明記しまし
た。

施策の2次評価にお
いて指摘のあった自
殺対策に係るこころ
サポーターの養成を
受け、未然防止につ
ながる人材育成など
を明記しました。

めざす成果 1

市民一人ひとりが健康づくりに取り組んでいる

市民一人ひとりが健康づくりに取り組むとともに、自らの健康状態を把握し、健康管理に努め
ています。

成果を計る主な指標			
指標名	現状値 (2012)	中間目標値 (2016)	目標値 (2018)
自ら健康づくりに取り組んでいる市民の割合	63.1%	〇〇%	〇〇%
5つ（肺、胃、大腸、乳、子宮）のがん検診 の平均受診率 【変更】 （旧：肺がん検診受診率）	15.0%	〇〇%	〇〇%

主な取り組み

- ・健康維持増進のための講座の実施や地域活動団体の支援を行います。
- ・地域における健康づくりをリードする人材を育成します。
- ・週末における健康診査の機会を拡大するなど、働く世代や子育て世代に受診を促します。
- ・各種健康診査後の事後指導、早期治療などにつなげます。

めざす成果 2

心身の健康を維持・増進するための体制が整っている

感染症、食中毒の予防対策に取り組むとともに、効果的な自殺対策が進み、心身の健康が維持
されています。

成果を計る主な指標			
指標名	現状値 (2012)	中間目標値 (2016)	目標値 (2018)
65 歳以上のインフルエンザ予防接種受診率	33.4%	〇〇%	〇〇%
自殺死亡率（人口 10 万人あたりの自殺死亡者 数）	20.9 人	〇〇人	〇〇人

主な取り組み

- ・感染症や食中毒などの蔓延防止に努めます。
- ・65 歳以上のインフルエンザ予防接種の費用を助成します。
- ・自殺のサインに気づき、関係機関等につなぐことのできる人材を育成するとともに、自殺
予防のための相談体制を充実します。
- ・自殺を未然に防ぐために関係機関等との連携を進めます。

基本目標 1 一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち

個別目標 1－2 いつでも必要な医療が受けられる

現状と課題

- 健康志向の高まりや高齢化の進行の中で、医療に対する需要が増大し、ニーズの多様化も進んでいます。
- これまで本市では、地域医療センターにおける休日夜間の一次救急や病院群輪番制による二次救急の運営に加え、やまと 24 時間健康相談の実施や救急医療情報キットの配布などに取り組んできました。
- 本市における救急医療については、毎年 1 万人を超える一次救急の利用者があり、二次救急においても 2 万 5 千人を超える利用者があります。
- 二次救急においては、軽症患者の受診割合が高く、将来的に、中度、重度の患者の診療に支障を来すことが危惧されます。
- 市立病院においては、これまで、医師、看護職員の充実に努めるとともに、診療機能を強化することで、地域の基幹病院としての機能強化に努めてきました。
- 近年の全国的な医師不足など医療を取り巻く環境が厳しい中で、市立病院にあっては積極的な経営改善に努めてきました。

取り組み方針

- 二次救急の適正受診の呼びかけを行いながら、安定した救急医療体制の運営を継続します。
- 市立病院における医師や看護職員の確保に加え、小児・周産期医療の充実や、がん診療における体制強化に向けた取り組みを進めていきます。
- 地域における必要な医療の安定的かつ継続的な提供に向け、市立病院と地域内の診療所との連携を強化します。
- 市立病院が地域の基幹病院としての役割を継続的に果たしていくために、収支バランスのとれた経営に努めます。

本市における 2 次救急医療の実態と施策の 2 次評価における指摘を踏まえ、軽症患者に対する適正受診の勧奨について明記しました。

市立病院の経営において今後重点化していく方向性について明記しました。

めざす成果 1

いざというときに診療を受けられる

夜間や休日でも医療を受けられる体制が整っていて、急な病気やけがの際に診療を受けることができます。

成果を計る主な指標			
指標名	現状値 (2012)	中間目標値 (2016)	目標値 (2018)
休日夜間診療所（一次救急）の年間患者取扱件数	12,725 件	〇〇件	〇〇件
二次救急での中度・重度患者の割合【変更】 （旧：二次救急での中重度患者の取扱件数）	12.4%	〇〇%	〇〇%

主な取り組み

- 必要な医療サービスを提供するため休日夜間診療所の運営を継続します。
- 軽症患者の適正受診を促しながら、市内 5 病院での病院群輪番制による二次救急の安定的な運営に努めます。
- 広報やホームページなどによる医療情報の周知を図るとともに、救急医療情報キットのさらなる配布を進めます。

めざす成果 2

市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている

医療の高度化や地域連携が図られており、地域の基幹病院としての役割を果たしています。

成果を計る主な指標			
指標名	現状値 (2012)	中間目標値 (2016)	目標値 (2018)
年間手術件数 【変更】 （旧：医師の総数）	3300 件	〇〇件	〇〇件
紹介率	45.5%	〇〇%	〇〇%
市立病院における経常収支比率	102.2%	〇〇%	〇〇%

主な取り組み

- 高度な医療技術を活用しながら手術を実施します。
- 近隣の医療機関と連携し、地域におけるがん診療の協力体制の整備を進めるとともに、小児周産期医療に係る救急機能を充実することで、紹介率の向上を図ります。
- 必要となる医師数や看護職員の維持、確保に努めます。
- 市立病院での取り組みを広く周知します。

基本目標 1 一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち

個別目標 1－3 高齢者や障がい者への支援を充実する

現状と課題

- ・急速に高齢化が進む中で、一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯が増加し、高齢者一人ひとりの状況に応じた支援が求められています。
- ・これまで本市では、高齢者が地域で安心して暮らしていくために、心身の状況に応じた見守り体制の構築や生きがいがづくり、介護予防の取り組みに努めてきました。
- ・介護施設の計画的な整備に加え、地域密着型サービスの充実に努めてきたものの、特別養護老人ホームなど介護施設へのニーズが増えています。
- ・障がい認定を受ける人が年々増えつづけており、今後も、障害福祉のサービスを利用する人は増加が続いていくと見込まれます。

取り組み方針

- ・高齢者の生活環境の向上を図るため、在宅高齢者の見守り体制の充実や生活支援策の実施、生きがいがづくりの支援に取り組めます。
- ・高齢者が健康を維持し、介護を受けずに暮らせるように、介護予防の必要な人々に対する介護予防のサービス提供に努めます。
- ・増加する介護認定者のニーズを踏まえながら、介護保険における在宅サービスと施設サービスとのバランスのとれたサービス提供を図っていきます。
- ・障がい者の地域移行に向けた取り組みを進めます。
- ・障害者自立支援法の改正に対応した相談支援施策の充実強化を図ります。

市民意識調査によるニーズの把握と、施策の2次評価を踏まえ、方針として、在宅サービスとのバランスが重要となることを前提としつつ、主な取り組みにおいて施設サービスの充実を明記しました。

めざす成果 1

高齢者が生き生きと暮らしている

高齢者が暮らしやすい生活環境の中で、生きがいを持って生活しています。

成果を計る主な指標			
指標名	現状値 (2012)	中間目標値 (2016)	目標値 (2018)
高齢者が地域で生き生きと活動していると思う市民の割合	54. 6%	〇〇% 	〇〇% 
高齢者のうち非要介護認定者の割合【変更】 (旧：シルバー人材センターの会員数)	〇〇%	〇〇% 	〇〇% 

主な取り組み

- ・高齢者が身近で気軽に集える場を確保し、生活にいきがいや張り合いを提供します。
- ・緊急通報システムや、民間事業者との協定による見守り支援の取り組みを充実します。
- ・様々な介護予防のサービスの提供を通じて、高齢者の心身機能低下を予防します。
- ・在宅生活が困難な高齢者に対する生活の場の確保に努めます。

めざす成果 2

必要な介護サービスの支援が受けられる

加齢などにより身体機能の低下が生じた場合に、地域の中で安心した生活を送るための必要な介護サービスが利用できています。

成果を計る主な指標			
指標名	現状値 (2012)	中間目標値 (2016)	目標値 (2018)
介護を必要とする人が安心して暮らしていると思う市民の割合	47. 3%	〇〇% 	〇〇% 
介護サービス利用者の満足度	62. 3%	〇〇% 	〇〇% 
施設サービスの利用割合【変更】 (旧：介護保険の認定申請方法の周知割合)	〇〇%	〇〇% 	〇〇% 

主な取り組み

- ・特別養護老人ホームの整備や地域密着型サービスの充実を図ります。
- ・介護保険法の改正に応じた保険者機能の強化など、増大する事務量に対応した体制整備を進めます。
- ・介護認定申請件数の増大に対応し、認定審査を効率的に実施します。

めざす成果3

障がい者が地域の中で自立した生活を送っている

地域に障がいのある人の活動の場や社会参加の場があり、その人らしく生き生きとした生活を送っています。

成果を計る主な指標			
指標名	現状値 (2012)	中間目標値 (2016)	目標値 (2018)
障がい者の地域移行率	33.4%	〇〇% 	〇〇% 

主な取り組み

- ・障がい者の地域移行について、継続的な取り組みを進めます。
- ・障がい者のサービス利用計画の作成にあたり、障害者相談支援事業所との連携、調整を充実していきます。
- ・障害者相談支援事業所を統括するとともに障害者虐待防止センター機能を併せもつ基幹相談支援センターの設置に取り組みます。

基本目標 1 一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち

個別目標 1－4 助け合う福祉の仕組みづくりを推進する

現状と課題

- 急速な高齢化や核家族化が進んでいく中であって、地域福祉の充実を図っていくためには、自助、公助はもとより、地域での支え合いによる共助の重要性が一層高まっています。
- お互いに助け合う地域福祉の推進に向けて、その担い手となる人づくりの重要性を広く市民に理解してもらう必要があります。
- 国民健康保険制度の安定的運営に向け、医療費を抑制するための疾病予防に重点を置いた特定健康診査の取り組みの推進については、受診率が横ばい傾向となっています。
- 経済不況と相まって生活保護受給者が急激に増加している中で、特に就労可能な年齢層の者が含まれる世帯の割合が増えています。

取り組み方針

- 地域福祉の推進における地域での共助の充実を図るため、地域活動団体、ボランティア、NPO法人などとの連携について取り組みを進めます。
- 地域福祉の現場で活躍する「人づくり」を積極的に支援していきます。
- 国民健康保険制度の安定的運営に向け、特定健康診査の受診などによる一人ひとりの疾病予防の重要性を周知していきます。
- 生活保護制度の適正な運営に向け、保護対象者ごとの働く能力に応じた就労支援を進めていきます。

施策の2次評価において指摘のあった地域福祉の推進にあたっての「共助」の取り組みについて明記しました。
また、地域福祉の担い手づくりについても明記しました。

近年社会問題化している生活保護に関して、2次評価における内容に照らして稼働能力に応じた就労支援について明記しました。

めざす成果 1

お互いに助け合う関係ができている

困った人を支える関係ができているとともに、助け合うことのできる仕組みが整っています。

成果を計る主な指標

指標名	現状値 (2012)	中間目標値 (2016)	目標値 (2018)
地域に支え合う人のつながりがあると思う市民の割合	41.9%	〇〇%	〇〇%

主な取り組み

- 民生委員児童委員協議会や地域福祉を推進するNPO法人などの団体へ支援を行います。
- 国民健康保険における疾病予防に向けた特定健康診査事業の推進に取り組みます。
- 国民健康保険や後期高齢医療における医療費の適正化に向け、レセプト及び療養費請求書の点検体制の充実を図ります。
- 生活保護に係る相談体制の充実とともに、就労支援員やハローワークとの連携強化などに取り組みます。